**ソフトウェアシステムの実装** 

**計画テンプレート**

システム導入計画

|  |  |
| --- | --- |
| **プロジェクトタイトル** |  |
|  |
| **プロジェクトマネージャー** | **プロジェクトスポンサー** | **開始日** |
|  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 計画 | 検索場所 |
| 実装戦略 | [このドキュメント](#_Implementation_Strategy) |
| テスト戦略 | [このドキュメント](#_Testing_Strategy) |
| 知識の伝達とトレーニング計画 | [このドキュメント](#_Knowledge_Transfer_and) |
| オペレーショナル・インパクト仕様 | [このドキュメント](#_Operational_Impact_Specification) |

**ヘルプ このテンプレートの使用** *読んだ後にこのボックスを削除します。*

システム実装計画は、情報システムの開発と実装に関連するすべての計画活動のハブです。このテンプレートに含まれる計画は、プロジェクトのニーズに合わせて削除、更新、または抽出する必要があります。カスタムソフトウェア開発を必要とするプロジェクトでは、設計、建設、およびテストに関するはるかに多くの計画が必要になります。このページには、このドキュメント内か他の場所かにかかわらず、すべてのプランへのハイパーリンクが表示されます。

# 実装戦略

**実装するコンポーネント**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| コンポーネント名 | 機能の説明 | 源 |
| <アプリケーション> | <コンポーネントが何をするかについての簡単な説明> | <自社開発、請負業者によるカスタム開発、既製など> |
| <モジュール> |  |  |
| <データベース> |  |  |

**開発アプローチ**

|  |
| --- |
| <このセクションでは、ウォーターフォール、反復、進化、プロトタイピング、アジャイルなど、使用される開発モデルについて簡単に説明> |

**統合アプローチ**

|  |
| --- |
| <このセクションでは、依存関係と、コンポーネントが統合およびテストされる順序を示します。ダイアグラムを置き換えたり追加したりして、他のシステムへの接続ポイントを示すことができます>。 |

**実装戦略**

|  |
| --- |
| <実装戦略では、次のトピックを網羅する必要があります。* 実施環境・設備
* 方法とツール
* ユーザーコミュニティ向けの成果物(トレーニングを含む)
* 展開サイトの識別>
 |

**コンバージョン戦略**

|  |
| --- |
| <変換戦略では、レガシ データがどのように処理されているかを記述する必要があります。全体的なアプローチについて説明し、ツール、テクニック、データソース、課題などを網羅して> |

**展開戦略**

|  |
| --- |
| <このセクションでは、システムを特定されたサイトに配信するために必要な要素に対処することによって、全体的な展開戦略について説明します。アクティビティ、ツール、場所、人などを網羅して> |

**ヘルプ このテンプレートの使用** *読んだ後にこのボックスを削除します。*

実装戦略は、システムの実装方法に関する大まかな計画です。まず、システムが記述されているコンポーネントに分割され、次に実装の側面が記述されます。特定のニーズに合わせてセクションを追加または削除します。アプローチを早い段階で特定することは、コスト、スコープ、および時間を計画するのに役立ちます。

# テスト戦略

**デプロイメント環境**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名前 | 技術的な説明 | 使用説明 |
| 発達 | <ハードウェア、ソフトウェア、CPUなど> | <目的、更新頻度、安定性等> |
| 機能テスト |  |  |
| ユーザー受け入れテスト |  |  |
| 生産 |  |  |
| <その他の環境> |  |  |

**環境制御アプローチ**

|  |
| --- |
| <このセクションでは、さまざまな環境がどのように更新され、使用されるかについて説明します。展開ツール、スケジュールなどを網羅して> |

**計画されたテスト活動**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テストの種類 | 形容 | 周波数 |
| 単体テスト | <方法、ツール、関係者、労力などを説明> | <x日ごと、メジャーリリース前など> |
| 統合テスト |  |  |
| 負荷テスト |  |  |
| ユーザー受け入れテスト |  |  |
| <その他のテスト> |  |  |

**欠陥追跡と解決アプローチ**

|  |
| --- |
| <このセクションでは、テストから生じる欠陥を追跡して解決する方法について説明します。これは、プロジェクト管理計画の全体的な品質管理計画と調整する必要があ>ます。 |

**ヘルプ このテンプレートの使用** *読んだ後にこのボックスを削除します。*

テスト戦略は、テストの実行方法を大まかに定義します。テストには、通常、さまざまな環境への定期的な展開と、さまざまなテスト グループの関与が含まれます。テストは、機能テスト、負荷テスト、パフォーマンス テスト、ユーザー受け入れテスト、統合テスト、単体テストなど、幅広い領域をカバーする必要があります。システムのテスト方法と必要なハードウェア/ソフトウェアを計画することは、コストの計画、役割の割り当て、TSC との調整に役立ちます。

最後に、欠陥の追跡と解決へのアプローチを、使用するツールやプロセスを含めて説明する必要があります。

# 知識の伝達とトレーニング計画

**知識要件**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ノウルデゲエリア | ナレッジグループ | 必要な運用グループ |
| <技術的な知識> | <実装チームの誰がこの分野について知っているでし>。 | <運用チームの誰がこの領域を知る必要があるのか?> |
| <システム知識> |  |  |
| <アプリケーションの知識> |  |  |
| <その他の地域> |  |  |

**知識移転計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 転送アクティビティ | 聴衆 | 担当者 | 時間枠 |
| <プロデュース取扱説明書> | <この活動は運用チームの誰を対象としていますか?> | <実装チームの誰がこのアクティビティを担当していま>。 | <日付、時刻、頻度など> |
| <ワークショップの実施> |  |  |  |
|  |  |  |  |

**トレーニング要件**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ユーザー・グループ | トレーニングのニーズ |  のサイズ グループ | グループの場所 |
| <管理者> | <役割、モジュール、機能> | <#の人々> | <本社、コミュニティ> |
| <ユーザー> |  |  |  |
| <その他のグループ> |  |  |  |

**トレーニングプラン**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研修活動 | 聴衆 | トレーニングチーム | 時間枠 |
| <生産ガイド> | <この活動は誰を対象としているの?> | <このトレーニングの実施には誰が関わっているの?> | <日付、時刻、頻度など> |
| <ワークショップ> |  |  |  |
|  |  |  |  |

**ヘルプ このテンプレートの使用** *読んだ後にこのボックスを削除します。*

知識の伝達とトレーニングの計画には、知識の伝達 (運用チーム) とトレーニング (エンド ユーザー) の重要な領域で実行されるアクティビティが記述されています。これらのアクティビティを早期に計画することは、コスト見積もり、リソース割り当て、スケジューリングなどに役立ちます。この計画は、後で完全なトレーニングスケジュールを作成するための基礎として使用できます。また、運用チームとTSCへの運用の移行を調整するのにも役立ちます。

# 運用上の影響の仕様

**運用プロファイル**

|  |  |
| --- | --- |
| 営業時間 | <7日~1日24時間、6日~1日22時間> |
| 予想される可用性 | <高可用性: 99.5%> |
| 期待される信頼性 | <フォールトトレランス:99.9%> |
| ピーク時の繁忙時間 | <09:30~10:30、13:00~14:00> |
| 最大許容停止 | <たとえば、システムをオフラインにできる期間はどのくらいですか?2時間、24時間、48時間> |
| バックアップ・ウィンドウ | <毎日23:00~24:00、週末の空き時間> |
| バックアップ要件 | フル・バックアップを週に1回<し、オフサイト要件> |
| <その他の仕様> |  |

**成長予測**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
| ワークステーション数 |  |  |  |  |  |
| アプリケーションサーバ数 |  |  |  |  |  |
| データベースサーバ数 |  |  |  |  |  |
| 他のサーバー数 |  |  |  |  |  |
| 仮想コアの数 |  |  |  |  |  |
| ストレージ要件 (GB) |  |  |  |  |  |
| <その他の見積もり> |  |  |  |  |  |

**統合ポイント**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 統合するシステム | 接近 | 周波数 |
| **<金融システム>** | <テクニック、ツールなど> | <リアルタイム、毎日、毎週> |
| **<その他のシステム>** |  |  |

**ヘルプ このテンプレートの使用** *読んだ後にこのボックスを削除します。*

オペレーショナル・インパクト仕様は、システムが実装されている環境におけるシステムの影響を見積もるために使用される計画ツールです。実装するシステムに合わせて仕様を追加または削除します。

この計画は、コスト、ハードウェア要件、サービス レベル アグリーメント、障害復旧計画、および他の多くの領域を計画するための基礎として使用できます。理想的には、これはビジネス・リレーションシップ・マネージャー (BRM) を介して TSC と相談して記入する必要があります。

|  |
| --- |
| **免責事項**Web サイトで Smartsheet が提供する記事、テンプレート、または情報は、参照のみを目的としています。当社は、情報を最新かつ正確に保つよう努めていますが、本ウェブサイトまたは本ウェブサイトに含まれる情報、記事、テンプレート、または関連グラフィックに関する完全性、正確性、信頼性、適合性、または可用性について、明示的または黙示的を問わず、いかなる種類の表明または保証も行いません。したがって、お客様がそのような情報に依拠する行為は、お客様ご自身の責任において厳格に行われるものとします。 |